

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智 徳

事業名 <small>みなみちようみやざきちよう</small> 南町宮崎町線	事業区分 街路	事業主体 千葉市			
起終点 自：千葉県千葉市中央区宮崎町 至：千葉県千葉市中央区大森町	延長 0.6 km				
事業概要 都市計画道路南町宮崎町線は、蘇我副都心と国道16号（旧千葉バイパス）とを連絡する幹線道路であり、環状道路へのアクセス強化、JR蘇我駅等との連絡による交通結節機能の充実を図るとともに、ICアクセスに寄与する重要な路線である。					
H6年度事業化	S39年度都市計画決定 （S60年度変更）	H6年度用地着手			
H - 年度工事着手					
全体事業費 約26億円 事業進捗率 60% 供用済延長 0 km					
計画交通量 13,000台/日					
費用便益分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> B/C <small>(事業全体)</small> 2.3 <small>(残事業)</small> 6.9 </td> <td style="text-align: center;"> 総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.4/28億円 事業費：9.2/28.2億円 維持管理費：0.2/0.2億円 </td> <td style="text-align: center;"> 総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 65/65億円 走行時間短縮便益：70.4/70.4億円 走行費用減少便益：-5.0/-5.0億円 交通事故減少便益：-0.1/-0.1億円 </td> </tr> </table>	B/C <small>(事業全体)</small> 2.3 <small>(残事業)</small> 6.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.4/28億円 事業費：9.2/28.2億円 維持管理費：0.2/0.2億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 65/65億円 走行時間短縮便益：70.4/70.4億円 走行費用減少便益：-5.0/-5.0億円 交通事故減少便益：-0.1/-0.1億円	基準年 平成15年
B/C <small>(事業全体)</small> 2.3 <small>(残事業)</small> 6.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 9.4/28億円 事業費：9.2/28.2億円 維持管理費：0.2/0.2億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 65/65億円 走行時間短縮便益：70.4/70.4億円 走行費用減少便益：-5.0/-5.0億円 交通事故減少便益：-0.1/-0.1億円			
事業の効果等 ・都市の再生(DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上) ・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 南町宮崎町線は、交通アクセスの強化や安全性の向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、千葉市議会等より早期整備の要望（平成15年9月30日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道16号千葉バイパス（現 国道16号）の全線供用により、ICアクセスのための交通渋滞が深刻化してきている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償協議が難航し、工事着手までに長期間を要したが、工事に着手すべく平成16年度から道路詳細設計を予定している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部において用地補償協議に難航したが、平成18年度までに用地買収を終了し、全線にわたり工事を進め、平成19年度に全線供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等 工事着手に当たり、仮締め切りの仮設材や盛土材料等について工事間流用（再利用）する等、コスト縮減を図っている。					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。